

藤波こども園

令和6年度 園長だより No.9

令和7年2月17日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

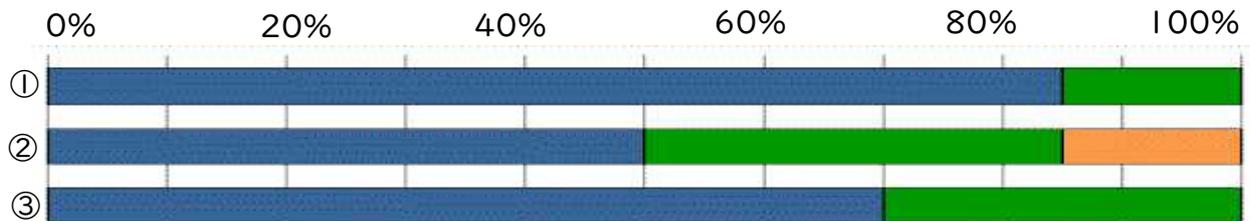
令和6年度園評価 集計結果

12月には「藤波こども園の教育・保育についての評価」にご協力いただき、ありがとうございました。その結果についてお知らせします。

■ できている ■ ほぼできている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない

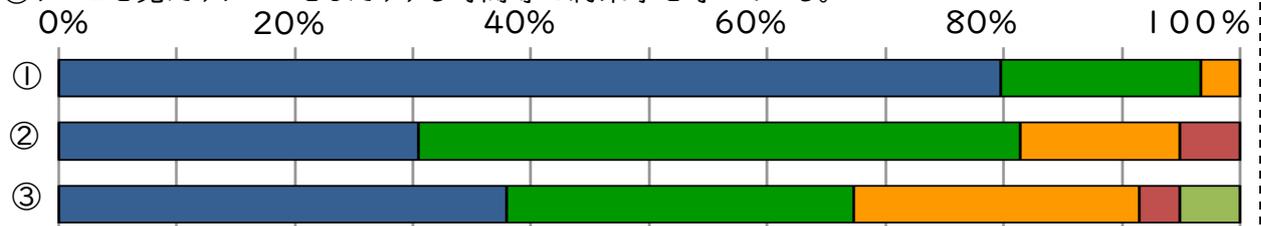
【0・1・2歳児 子どもの様子】

- ①子どもは喜んで園に行き、楽しく生活している。
- ②子どもは、「早寝・早起き」ができています。
- ③毎日、朝ごはんを食べている。



【3・4・5歳児 子どもの様子】

- ①子どもは喜んで園に行き、楽しく生活している。
- ②子どもは、「早寝・早起き」ができています。
- ③テレビを見たりゲームをしたりする時間等の約束事を守っている。



【教育内容】【保護者として】については、ほとんどの質問項目で、100%近くの方が「できている」「ほぼできている」と回答されていました。上のグラフが示すように、子どもにとっても親にとっても多少の努力が必要な「規則正しい生活」や「テレビを見たりゲームをしたりする時間等の約束」に関して心配な結果が出ています。食事や睡眠も含めて生活リズムを整え、健康的に成長することを願うところです。2面、3面は自由記述の内容です。



意見感想	園より
<p>【0,1,2歳】</p> <p>■着替えの服やタオルの準備を園で準備してほしい。</p> <p>■カバンや帽子を自由にしてほしい。</p>	<p>■季節によってはほぼ全員の子が1日に複数回の着替えをします。約90名の子どもの着替えを準備するのは困難で、保護者の方にご協力をお願いしています。</p> <p>■活動時にはお帽子の色によって年齢別の把握をしています。また、園外の活動の際には同じカバンを持つことで、当園の子どもの把握ができていることをご理解ください。</p>
<p>【3,4,5歳】</p> <p>■発表会の劇がもう少しわかりやすい内容だとよい。子どもたちのオリジナルが多いとよくわからなくなってしまうように感じた。でも、子ども達が一生懸命がんばっている姿はとてもよかったです。</p> <p>■花組のおたよりが少なかった。</p> <p>■運動会の取組は子ども中心でよいが、体操の時などの整列くらいはしっかり広がって出来るようになって欲しい。</p> <p>■遊びの面では子どもらしく主体的に過ごす姿が素晴らしいが、生活面においては少し自由すぎる場所もあると感じる。</p>	<p>■年少、年中の子どもたちには、発表会に向けて取り組むことへの興味・関心を持つことを優先的に考えています。そのことから、子どもたちにとって身近な内容を扱うことになります。発表会に取り組むことの充実感を徐々に味わいながら年長でストーリーのある内容に取り組めます。年長の内容についても、保育者と子どもたちが話し合いながら劇として取り組む場面を決定しています。そのような取組を経て、子どもたちは達成感を味わっているように感じます。</p> <p>■花組の子どもたちは、午前中は各ホームで過ごし、午後は昼寝をしています。そのことで花組独自の活動が星組や月組と比べると少なく、おたよりでお知らせする内容も少なくなって、1~2ヶ月に1度程度の発行になりました。各ホームからのおたよりで花組の子どもたちの様子も感じていただきたく思います。発行回数についてお約束はできませんが、子どもたちの様子をみなさんにお伝えできるよう努力します。</p> <p>■年少、年中、年長と成長するにつれて子どもたちの視野は広がり、行動面にも現れます。幼い子どもたちにとって人との空間的距離を考えて行動するのは難しいことですが、成長段階を考慮しながら、できることが増えるよう支援していきたく思います。</p> <p>■子どもが主体的に動けるよう、また、子どもが自分でいろいろと考えようとする気持ちを持てるようになることを第一に考えていますが、生活面や人との接し方については子どもに考えさせながら指導する場面もたくさんあります。しかし、その指導の受け止め方は子どもによって差があり、すべての子どもたちが一律に理解して行動できるようにはなかなかなりません。今後も指導・支援を続けていきますので、保護者のみなさまにはご協力をよろしく願います。</p>

※その他、園へのねぎらいのお言葉や、子どもたちの微笑ましい様子などをたくさん書いていただきました。

その内容は次の通りです。

（同様の言葉、同様の内容についてはまとめて掲載しています。
□の数、同様の記述をしていただいた方の人数です。）

【0,1,2歳】

- ・子どもが楽しく登園していること 2名
- ・子どもの成長を感じることに
- ・送迎時に職員から子どもの様子を聞けること 2名
- ・連絡ノートやおたよりで園の様子がよくわかること 2名
- ・職員が子どもにやさしく、丁寧に接していると感じていただいていること 4名
- ・保護者からの相談事を職員が丁寧に聞いていただいていること



【3,4,5歳】

- ・子どもは園が好きで、楽しくのびのびと過ごしていること 6名
- ・発表会で子どもたちが一生懸命に頑張っていたこと
- ・料理や、針と糸を使った活動など、園でいろいろな経験をしていること 2名
- ・子どもの成長の要因が、ホームの異年齢の関わりだと感じていただいていること
- ・園の活動を、子どもに無理のないペースで進めていると感じていただいていること 2名
- ・職員が子どもにやさしく、丁寧に接していると感じていただいていること 2名
- ・職員が子ども一人ひとりの個性を大切にしていると感じていただいていること
- ・職員が、子どもの様子を保護者にこまめに伝えていただいていること
- ・職員の努力と専門性を感じていただいていること



※ この紙面に載せるのは手前味噌で気恥ずかしいのですが、
次のように書いていただいた方がおられました。

先生方のおかげで私たちは安心して仕事に行くことができ
ています。1人でも大変なのにたくさんの子どものを見てくだ
さっているのが、本当に尊敬します。

また、いつも子どもたちが楽しめることを考えてくださり、あ
りがとうございます。

保育参観もすごくよかったです。

(幼児保護者)

心温まるお言葉をいただき、ありがとうございます。

園のことを理解いただいていること、このようなお言葉をい
ただけることが私たちの大きな励みになります。

ご指摘いただいたことで改善できることについては努
めながら、子どもたちの成長を見守りたいと思います。

至らぬ点多々あると思います。お気づきのことなども含
め、ご指導いただきますようお願いいたします。

(職員一同)

生演奏にノリノリ

～音楽ミニコンサート～

昨年に引き続き、今年も県内で音楽活動をされている杉田美穂さん、徳田亜由美さん、来田千佐登さんにお越しいただき、音楽のミニコンサートを行いました。



ピアノとフルートに合わせて子どもたちがよく知っている歌を歌っていただき、もも組・雪組の子どもたちやさくらんぼに来ていただいた小さな子どもたちもリズムに合わせて体を動かしたり手をたたいたりしながら楽しんでいました。

6月、12月にも劇や人形劇を民生委員さん



にもお世話になりながら鑑賞しています。自分たちのために演じていただいている舞台上に子どもたちは釘付けで、ユーチューブのように一時停止や早送り再生などのできない、生の演奏を存分に楽しんでいる様子でした。

「藤波こども園は・・・」

リーベさん(運動あそび)のブログで

保育のプロフェッショナルとは。

滋賀県にあります藤波こども園さん。

そんな園での、とある運動あそびの日。子どもたちと遊ぶたくさんの先生の中でも、一際いっしょに遊びまくる先生。その先生に、アフロがなんとなしにボソッと「子どもと一緒にあそぶことなく、見てるだけの先生も結構多いんですよ～」と話をすると「え?? 保育士って子どもとあそぶ以外、なんの仕事があるの～～?」と笑顔で言い放って、去って行かれました♪

スパーンと言い放つその潔さというか豪快さに、思わず心奪われる時間。当たり前ですが、この先生も日々書類に向き合い、会議に出て、保護者とコミュニケーションをとり、その他たくさんの方の保育業務をこなしておられます、が!!! それでもこの発言ができちゃう、その意識、覚悟、築き上げてきた保育観が大好きです。

ちなみに、この先生だけではなく、この園の先生たちは皆さんそんな感じのかっこいいプロフェッショナルばかり。園全体で、チームで、その保育観が確実に共有され、ずっとずっと受け継がれています。僕は、藤波こども園さんのような現場に行くのが最高に楽しいです。

(代表 阪田隼也さん)

